

泊発電所3号炉審査資料
資料1-3-1
平成28年10月27日

泊発電所3号炉
審査会合における指摘事項一覧表
【設計基準関連】
【技術的能力】

平成28年10月27日
北海道電力株式会社

審査会合における指摘事項に対する本日回答分

【原子力事業者の技術的能力】

No.	指摘事項	回答
141007-02	本店と泊発電所の業務分担や連携の仕組みについて説明すること。 また、発電所の運転・保守の経験が設計に適切に反映されることを示すこと	平成 28 年 10 月 27 日 資料 1 - 1

審査会合における指摘事項に対する回答準備中のもの

【第 4 条 地震による損傷の防止】

No.	指摘事項	回答
140114-01	床応答への影響を踏まえた土木構築物の断面選定の考え方について整理すること。	
140114-02	波及的影響の評価方針について、今後整理して示すこと。	

【第 5 条 津波による損傷の防止】

No.	指摘事項	回答
140114-03	モニタリングポストについて、津波による漂流影響、防潮堤設置による計測への影響について整理すること。	
140114-04	高潮に対する考慮の程度について示すこと。	
140114-05	防波堤に対する漂流物の状況を踏まえた評価を行なうこと。	
140114-06	防波堤洗掘に対する検討を行なうこと。	
140114-07	建物・家屋など漂流物となりうるものを調査し評価すること。	
140114-08	防波堤の沈下の程度を考慮し、入力津波への影響について検討すること。	

審査会合における指摘事項に対する回答済のもの

【第6条のうち 竜巻】

No.	指摘事項	回答
131119-01	竜巻の地形効果に関する数値シミュレーション結果を別途報告すること。	平成25年12月24日 資料1-4 補足9
131119-02	運転時荷重の組み合わせを考慮していない理由の一つにファンの停止が挙げられているが、どのような状況になればファンを停止するのか説明すること。	平成25年12月24日 資料1-4 P.13-2
131119-03	クラス1・2に属する構築物、系統および機器も含め、竜巻防護施設を抽出した結果を示すこと。	平成25年12月24日 資料1-3 P.20, 資料1-4 補足10
131119-04	対象設備の機能に影響を与えないことを含め、飛来物防護対策の詳細について説明すること。	平成25年12月24日 資料1-4 P.26-9～26-29
131224-05	気圧差による影響評価における対象施設の網羅性について説明すること。	平成26年2月18日 資料1-4 P.7-9～7-11
131224-06	気圧差による非常用ディーゼル発電機の運転影響について改めて説明すること。	平成26年2月18日 資料1-4 P.7-9～7-11
131224-07	防護対象設備のメンテナンス性への影響について再整理すること。	平成26年3月4日 資料1-1 P.7-1～7-3
131224-8	作業中の業務車両の退避については訓練も含めて実効性を確認すること。	平成26年2月18日 資料1-4 P.7-5～7-8

【第6条のうち 火山】

No.	指摘事項	回答
131219-04	安全施設が屋内にあることを含め、火山灰による金属腐食の影響についてまとめること。	平成26年1月28日 資料3-2
131219-05	電気盤、計装盤への影響について、火山灰が建屋内へ侵入することに備えた対応手順を整備すること。	平成26年1月28日 資料3-2

【第6条のうち 外部火災】

No.	指摘事項	回答
131008-01	開閉所と防火帯の位置関係について現地調査で確認する。	平成25年10月18日 現地調査で確認
131008-02	森林火災を想定した消火活動およびモニタリングポストに対する放水が適切に行なえるよう保安規定の下部要領に対応手順を定めること。	平成26年2月18日 資料1-4 P.4-2~4-5
131008-03	断熱材の設置等について工事計画の審査のなかで確認する。	平成26年2月18日 資料1-4 P.4-6~4-8
140218-01	森林火災の発生について自治体からの連絡を確実に受信できる体制であることを示すこと。	平成26年3月4日 資料1-1 P.4-2
140218-02	森林火災時に防火帯への放水が時間的に成立することを定量的に示すこと。	平成26年3月4日 資料1-1 P.4-3~4-4

【第8条 火災による損傷の防止】

No.	指摘事項	回答
131219-01	防護対象設備の選定において、接続部（パッキン類）を除外する考え方について整理すること。	平成26年3月4日 資料1-1 P.8-2~8-3
131219-02	原子炉格納容器内の火災に対して、誰がどのように対応するかに加え設備対応も検討すること。	平成26年3月4日 資料1-1 P.8-4~8-49
131219-03	難燃ケーブルの最新規格への適合性について整理すること。	平成26年3月4日 資料1-1 P.8-50~8-71

【第9条 溢水による損傷の防止等】

No.	指摘事項	回答
131126-01	防護対象設備の選定と機能喪失高さの考え方について改めて整理して示すこと。	平成25年12月24日 資料1-2 P.1-2
131126-02	溢水防護区画内外での溢水評価についてガイドどおりであることを改めて整理して示すこと。	平成25年12月24日 資料1-2 補足3, 12, 14
131126-03	耐震評価対象機器の抽出における保有水量の目安値（10m ³ 以上）の考え方について示すこと。	平成25年12月24日 資料1-2 P.4-1

131126-04	大間原子力発電所の工認に関する意見聴取会の例を適用できるとする考え方を示すこと。	平成 25 年 12 月 24 日 資料 1-2 P. 4-23～4-28
131126-05	補足 3 について評価における保守性の考え方を整理のうえ改めて説明すること。	平成 25 年 12 月 24 日 資料 1-2 P. 3-3, 3-14, 3-25～ 27, P. 2-3
131126-06	使用済燃料ピットのスロッシングによる最大溢水量について、今後の解析結果を踏まえ、評価の妥当性・保守性を示すこと。	平成 26 年 2 月 18 日 資料 1-4 P. 13-4～13-18
131126-07	貫通部及び電線管のシール対策において水面の揺らぎ等を考慮した保守性のある溢水高さを設定していることについて説明すること。	平成 25 年 12 月 24 日 資料 1-2 P. 3-16
131126-08	水密扉について、基準地震動に対する詳細な評価を示すこと。	平成 26 年 2 月 18 日 資料 1-4 P. 13-19～13-24
131126-09	止水板の運用の規定方法について考え方を示すこと。	平成 26 年 2 月 18 日 資料 1-4 P. 13-63
131224-01	高エネルギー配管のうち蒸気発生器ブローダウン系統に破損が生じないとする評価について、配管ルート図を含め、結果を示すこと。	平成 26 年 2 月 18 日 資料 1-4 P. 13-25～13-34
131224-02	耐蒸気性能試験における評価対象設備の網羅性について説明すること。	平成 26 年 2 月 18 日 資料 1-4 P. 13-48～13-62
131224-03	配管破断による噴流の影響評価について別途説明すること。	平成 26 年 2 月 18 日 資料 1-4 P. 13-35～13-47
131224-04	止水板の運用に関するマニュアルの規定内容について別途説明すること。	平成 26 年 2 月 18 日 資料 1-4 P. 13-63

【第 10 条 誤操作の防止】

No.	指摘事項	回答
131029-06	V & V の検証について説明すること。	平成 25 年 11 月 19 日 資料 1-3 P. 6 資料 1-4 P. 5～8
131029-07	新たに追加する計装を既設の制御盤に統合するか別盤とするかの検討を提示すること。	検討の結果別盤とした

【第 12 条 安全施設】

No.	指摘事項	回答
131219-06	格納容器スプレイについて基準適合の考え方を再整理すること。	平成 26 年 2 月 4 日 資料 1-1

【第 26 条 原子炉制御室等】

No.	指摘事項	回答
131022-01	監視カメラの詳細設計について工事計画の審査において確認する。	工事計画の審査において確認いただく。
131022-02	中央制御室へのチェンジングエリアの設定時間について今後の審査で確認する。	平成 26 年 1 月 28 日 資料 3-2

【第 31 条 監視設備】

No.	指摘事項	回答
130912-06	発電所の陸域・海域を囲むモニタリング体制や設備について説明すること。また、可搬型設備を用いた敷地内の空間線量率、風向・風速の計測についても充実を検討すること。	平成 25 年 10 月 22 日 資料 1-4, 1-5
131022-03	可搬式モニタリングの具体的な運用について今後の審査で確認する。	平成 26 年 1 月 28 日 資料 3-2

【第 33 条 保安電源設備】

No.	指摘事項	回答
130813-01	ディーゼル発電機および直流電源設備の負荷と電源設備の容量策定の考え方について資料を作成して説明すること。	平成 25 年 10 月 8 日 資料 1-6 P. 1-1~1-6
130813-02	塩害対策について資料にまとめて詳細に説明すること。	平成 25 年 10 月 8 日 資料 1-6 P. 2-1~2-3
130813-03	後志幹線と泊幹線が近接する箇所について詳細な位置関係を図面で示し、共通要因故障について説明すること。泊幹線と 6 6 kV 回線が交差する箇所も同様とする。	平成 25 年 10 月 8 日 資料 1-6 P. 3-1~3-10
130813-04	ディーゼル発電機燃料油の補給の運用について説明すること。	平成 25 年 10 月 8 日 資料 1-6 P. 4-1
130813-05	ディーゼル発電機のタンク、ポンプについて、単一故障を想定した場合の評価について説明すること。	平成 25 年 10 月 8 日 資料 1-6 P. 4-2

【第 34 条 緊急時対策所】

No.	指摘事項	回答
130912-01	緊急時対策所が実際に運用可能か、チェン징エリアが適切かについて、現場調査で確認する。	平成 25 年 10 月 18 日 現地調査で確認
130912-02	プルーム通過時の被ばく低減は、モニタリングも含め、ハード面、ソフト面の対応が重要であり継続して検討すること。また、有効性評価のシーケンスを P R A の評価を踏まえて整理する際に、緊急時対策所の運用もあわせて整理すること。	新設緊急時対策所の検討に反映。 平成 26 年 9 月 2 日 資料 2-1
130912-03	加圧試験は人の出入を十分考慮して条件を設定すること。試験の結果について報告すること。	平成 26 年 1 月 21 日 資料 1-3
130912-04	建屋内拡散を考慮して評価について、時間平均を使用することの妥当性について説明すること。	新設緊急時対策所の検討に反映。 平成 26 年 9 月 2 日 資料 2-1
130912-05	1・2号炉が燃料取出しの状態を維持することの法的担保について、事業者としてどう手続きするか検討すること。	新設緊急時対策所の検討に反映。 平成 26 年 9 月 2 日 資料 2-1
140902-01	指揮所・待機所が分割されることにより情報収集や各種活動に制約が生じないように、人の動きや指揮所・待機所の運用を踏まえ、居住性や資機材の充足性について説明すること。	平成 26 年 10 月 7 日 資料 1-3、1-4
140902-02	重大事故対策での重要な判断パラメータが緊急時対策所で確認できることについて説明すること。	平成 26 年 10 月 7 日 資料 1-3、1-4
140902-03	代替電源設備のタイラインを設置する等、代替電源の多様性・多重性確保の可能性について検討すること。	平成 26 年 10 月 7 日 資料 1-3、1-4
141007-01	3号機の緊急時対策所の対応に対して、停止中(燃料取り出し状態)の1・2号機の影響を検討すること。	平成 28 年 9 月 6 日 資料 1-1

以上